

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 実施自治体・担当課（連絡先） | 熊本県教育庁人権同和教育課指導係 電話： 096-333-2702 |
|----------------|--------------------------------------|

1. 概要

| | |
|-----------------------------|---|
| 事業名 | 地域人権教育指導員研修会 |
| 主催(共催) | 熊本県教育委員会 |
| 実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等 | 6月～1月 20人×3回 |
| 開催場所 | 火の君総合文化センター、水俣市立水俣病資料館、熊本県立芦北養護学校、熊本テルサ |
| 対象 | 地域人権教育指導員 |
| 人権課題 | 同和問題、ハンセン病をめぐる人権、水俣病をめぐる人権、子どもの人権、人権全般 |

2. 事業内容

| |
|--|
| <p>(1)事業の目的</p> <p>各地域における人権教育・啓発を推進するため、人権尊重の精神の涵養を図る教育・啓発についての研修を深め、地域人権教育指導員としての資質や指導力の強化を図る。</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>(2)事業概要</p> <p>第1回研修会 講話「ハンセン病問題から学ぶ」、参加体験型学習の実際。 第2回研修会 水俣市立水俣病資料館、熊本県立芦北養護学校の研修視察。 第3回研修会 講話「地域人権教育指導員に期待すること」、参加体験型学習の実際、研究協議。</p> |
| <p>(2)-1 連携状況</p> |
| <p>(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人権教育指導員として資質の向上と指導力の強化を図るため同和問題をはじめ、熊本県の重要課題であるハンセン病をめぐる人権、水俣病をめぐる人権について現地学習や外部講師を招聘した講話を実施した。 ・人権問題に対する理解と認識を深める新たな手法である参加体験型学習についての研修を深めた。 |
| <p>(3)参加者の反応・事業の反響等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域における人権問題に関する課題解決のため、これまでの成果や手法への評価を踏まえ、地域の実情にあった取組がなされ、着実に人権教育の推進及び指導体制が図られている。 ・地域人権教育指導員には引き続き、これからの人権教育・啓発の推進役として大いに期待している。 |
| <p>(3)-1 反省点・今後の課題</p> <p>限られた予算の中で、より効果の上がる事業をどのように展開していくかが今後の課題である。</p> |